

【発行】帯広平和委員会

<http://city.hokkai.or.jp/~peaceweb/>

郵便振替口座 02710-3-56581

帯広・十勝版

2005

1月20日

平和新聞

帯広平和委員会会報

核兵器も戦争もない平和な未来づくり

2005元旦6・9帯広



変える動きが強まる中、ノーベル賞作家の大江健三郎さんや作家の井上ひさしさんら九人の著名な方々による「九条の会」アピールが、大きな反響を呼んでいます。

こうした中、十勝では去る12月21日、十勝在住の14名の方によって「『九条の会』アピールに賛同する十勝の会」が結成され、記者会見が行われました。

最初に事務局の金倉俊嗣さんから「思想、信条の違いをこえ、憲法九条を守ろうの一点で集まり、『九条の会』アピールの賛同を広めることになった」と趣旨を説明。その後、「戦争に行くのは若い人、残されるのは女性。今の憲法は死守したいと思う。」「戦争放棄を定めた世界的に貴重な憲法は、身を挺してでも守らなければならない。」「憲法にうたわれた人権の尊重、平和主義は守らなければならない。特に世界に誇る憲法九条を守ろうと、声を大にして言いたい。」など、記者会見に参加した7名の方がそれぞれ憲法九条に対する熱い思いを語りました。

1月1日午前11時から2時間、今年も帯広神社前で、元旦6・9が行われました。連日、朝の気温が氷点下15以下の帯広。防寒着に身を包み20名が駆けつけ、初詣の市民に募金を訴えました。

竹腰帯広原水協事務局長はハンドマイクを握り、被爆60周年の今年、5月にニューヨークで開かれるNPT再検討会議やイラクへの自衛隊の派兵反対を訴えました。

しかし残念なことに、帯広神社から「参拝者の流れの邪魔になる」との理由からやめてくれとのクレームがあり、ヤムナク40分で中止しました。

1月定例6・9

元旦6・9の募金を補うため、募金にも力をいれ、いつもより

少し長い持間取り組みました。9名が参加し、「いま署名」39筆、「裁判署名」22筆、募金1,577円を集めました。

九条の会

アピールに賛同する十勝の会
九条を守る熱い思いを語る

戦争の放棄と戦力の不保持を定めた憲法九条、この憲法を



被爆60周年
国際署名

Abolition Now!!

いま、核兵器の廃絶を

ヒロシマ・ナガサキをくりかえさないために

1945年8月、一瞬にして二つの都市を壊滅させた広島・長崎への原爆投下から今年で60年を迎えました。「あの悲劇をくりかえしてはならない」という被爆者のさけびは、核兵器廃絶を求める世界の声となってひろがっています。

帯広・十勝でもこの「被爆60年の運動を成功させよう」と取り組んでいます。

つきましては、下記の内容で「十勝原水協学校」が開催されます。何かとお忙しいことと思いますが、お誘い合わせの上ご参加ください。

2005年、広島・長崎被爆60年

十勝原水協学校

1月25日(火)

午後7時～

とかちプラザ 307

講師 岩淵 尚さん

(北海道原水協事務局長)

資料代 500円

「被爆60年運動」を成功させるための活動者会議です。被爆60年。今年的情勢と運動の中身および「どのように運動を展開するか」について学習します。急な日程ですが、多くの方々に参加して欲しいと思います。



原水爆禁止 2004年世界大会が前進させた政府・NGOとの垣根をこえた協力をより発展させましょう。「廃絶2000」のアリス・スレーター代表は世界大会で、NPT再検討会議の会場前で「いま、核兵器の廃絶を」署名で埋めつくそうと呼びかけました。

Nuclear Non-Proliferation Treaty

NPT 再検討会議

ニューヨーク100万人行動

代表大募集

日本原水協は、2005年27日～5月5日までの期間、各国政府に「核兵器廃絶」の合意と核兵器廃絶交渉の開始を求めるNPT再検討会議要請団を派遣します。

NPT再検討会議では、2000年5月に、核保有5カ国政府がおこなった核兵器廃絶の「明確な約束」の履行が厳しく問われます。この約束の実行を焦点に、5月1日のニューヨーク100万人行動、世界平和市長会議のイニシアティブや米国の自治体の動き、世界的なネットワーク「廃絶2000」や全米平和正義連合のとりくみ、さらに、メキシコの提唱する非核兵器地帯諸国会議など、世界的な規模で核兵器廃絶行動が計画され、展開されています。

代表団は、NPT再検討会議の傍聴、各国政府への要請行動、5・1NY行動への参加、5・2「いま、核兵器の廃絶を」国際署名共同提出行動、各国やアメリカのNGO、反核平和運動の交流などを行います。

原水爆禁止 2004年世界大会が前進させた政府・NGOとの垣根をこえた協力をより発展させましょう。「廃絶2000」のアリス・スレーター代表は世界大会で、NPT再検討会議の会場前で「いま、核兵器の廃絶を」署名で埋めつくそうと呼びかけました。

十勝からも代表を

北海道でも、岩見沢、小樽、函館、釧路などで代表派遣のための取り組みが行われています。帯広・十勝からも派遣したいと取り組んでいます。

【日程】

4月27日～5月4日

(現地6泊+機内1泊)

◆ 4月27日(水) 日本発

◆ 4月27日(水)～29日(金)

核被害地・反核運動との交流

A班 ハンフォード

B班 ネバダ実験場

C班 サンフランシスコ

◆ 4月29日(金) NY入り

◆ 4月30日(土)

日本原水協代表団のためのブリーフィング NGO軍縮委員会、西部諸州法律基金、非核国政府(非同盟、新アジェンダ)代表が報告

◆ 5月1日(日)

ニューヨーク行動

◆ 5月2日(月)

「いま、核兵器の廃絶を」国際署名提出行動

◆ 5月3日(火)

NY発(5月4日帰国)

行きたい人、派遣したい人がおりましたら、事務局までご連絡ください。

(Tel.22-7737 Fax.26-0658)

1月例会のご案内

帯広平和委員会の1月例会を下記の日程で開催します。

日時：1月27日(木)

午後7時より

場所：千野会館

(音更町木野東通1丁目)

(十勝大橋を土幌方向へ向かいひとつめの信号を右折し100mほどのところ)

議題

北海道原水協学校報告

道平和委員会理事会報告

3・1ピキニデー中央集会

その他当面する活動